

2023年12月25日

株式会社 千葉銀行

株式会社オカムラホーム向け「ちばぎんSDGsリーダーズローン」の取組みについて

千葉銀行(頭取 米本 努)は、株式会社オカムラホーム(代表取締役 金子 保夫、本社:千葉県八千代市)に対して、「ちばぎんSDGsリーダーズローン(サステナビリティ・リンク・ローン型)」を取り組みましたのでお知らせします。

「ちばぎんSDGsリーダーズローン」は、サステナビリティ経営を積極的に実践しようとする事業者さまが、事業規模や経営実態に合わせて有効な目標等を設定する融資制度です。

貸出先の株式会社オカムラホームは、八千代市を中心に戸建て住宅の建築及び販売、不動産仲介、リノベーション等幅広く展開しています。同社は高い商品設計力を強みとしており、「高気密」「高断熱」「高耐震」を備えた、木こち家ラボの規格住宅「ZOOT」は機能性とデザイン性を兼ね備えた商品となっています。また、同社のパーパスとして「あなたの暮らしを豊かにする」企業を掲げ、空き家対策として古民家をカフェに再利用するほか、「MIRAI KOMINKA for School」では同社が発起人となり産・学・官でSDGsにも取り組んでいます。

今回、SDGs達成の取組みとして、空き家の有効利用件数増加目標と太陽光発電の販売容量目標を策定しました。目標達成時には当行が金利を優遇することで、お客さまの目標達成に向けた動機付けを行い、お客さまのサステナビリティ経営を後押しします。

当行は今後もグループ一体となって、サステナブル・ファイナンスを提供することで、お客さまや地域社会のパートナーとして、社会・環境問題の解決に資する取組みを一層推進し、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

【案件概要】

貸出先	株式会社オカムラホーム	資金使途	運転資金
契約締結月	2023年11月	融資金額	150百万円
融資形態	証書貸付	第三者評価機関	株式会社ちばぎん総合研究所

【本件のSPTs<sup>※1</sup>について】

設定内容		目標設定			
		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
SPT①	空き家の有効利用件数 <sup>※2</sup>	7戸	8戸	9戸	10戸
SPT②	太陽光発電の累積販売容量 <sup>※2</sup>	354.4Kwh	384.1Kwh	413.9Kwh	443.6Kwh

※1 SDGs・ESG戦略における事業挑戦目標(サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット)

※2 2022年度(2022年7月~2023年6月)の実績はSPT①:6戸、SPT②:324.7kwh

以上